

編集後記

NHKの夜ドラ『作りたい女と食べたい女』。原作の漫画も面白かったが、TVドラマも楽しみに観ている。東京で倅しく一人暮らしをしている二人の女性、小食だけど料理が好きな野本さんと、豪快な食べっぷりの春日さんの交流が描かれたシーズン1が2022年の放映。シーズン2の現在は、野本さんが、自分の春日さんへの思いが恋だと気付く様子が丁寧に描かれているところ。この二人の物語に私が惹かれる理由の一つは、女性がこの社会の中で感じている違和感が掬い取られているからだと思う。

自分が好きで料理を作っているのに、「いい奥さん・お母さんになれるね」と定型的な形容をされ、心がざらつく野本さん。起き上がれないほどの月経困難症なのに、野本さんはこれぐらいのことで病院に行っはいけないと我慢している。そしてそんな彼女に、「病院に行ってもいいと思います」と春日さんが伝える。定食屋で餃子とごはんを注文する春日さんに、「お姉さん、餃子にライスは邪道だよ。やっぱり餃子にはビールでしょう。わかってないなあ。」としたり顔でダメ出ししてくる中年男。こんなヒトいるよなあ。春日さんの仕事先の中年女性は、自分の親の介護を押し付けて知らん顔の夫を憎み苦しむ。そして郷里の父親から祖母の介護のため、仕事を辞めて帰るよう執拗に要求されている春日さんに、「私なら娘に帰ってこなくていいと言うよ」と励ます。

当たり前、普通のこととされてきた物事が、誰かの我慢や沈黙で成り立っているなら、それは当たり前でも普通でもない。もうすぐ最終回だが、野本さんと春日さんの幸せを願うばかりである。

(常任理事 長谷川奈津江)

表紙写真の募集

山口県医師会報の表紙を飾る写真を随時募集しております。

アナログ写真、デジタル写真を問いません。

ぜひ下記までご連絡ください。

ただし、山口県医師会会員撮影のものに限ります。

〒753-0814 山口市吉敷下東3-1-1 山口県医師会総務課内 会報編集係

E-mail : kaihou@yamaguchi.med.or.jp